

1946 (昭和21)年

◆社会：日本国憲法公布(11/1)施行(S22-5/3)。農地改革(4/)。金融緊急措置令(新円発行・旧券封鎖)(2/17)新円交換。

◇SP：第1回 国民体育大会(11/1~11/3 京都)。

◇テニス：デヴィス氏死亡(享年66才)

◇本学テニス：戦後 庭球部 再開。部長一黒田 謙吾教授 就任。(3月~ 同志社 アーモスト館南側コート)

(部員)

主将一田平 副将一島岡 主務一亀岡
守山 桜井(修) 福永 坂本 北沢 柳川 菅原
遠藤 富浦 山村(正) 山村(明) 等

1946 (昭和21)年

【関西学生大学対抗庭球リーグ戦】

(6月 5日~ 同志社・京大・中モズ)

<男子Aリーグ> 全5校 7ポイント制(D-2 S-5)

× 同志社 0 (複0-2 単0-5) 7 関学①

(ダブルス) (5/19 同志社)

No1×守山・桜井(修) 2-6 1-6 伊藤・戸次

No2×島岡・坂本 8-6 3-6 1-6 河本・清水

(シングルス)

No1×桜井 修 2-6 2-6 伊藤

No2×北沢 良三 0-6 0-6 戸次

No3×守山敬次郎 7-5 4-6 4-6 河本

No4×島岡 博次 2-6 3-6 清水

No5×坂本 裕治 6-1 3-6 1-6 吉村

× 同志社 3 (複1-1 単2-3) 4 京大②

(ダブルス) (6/1 同志社)

No1○田平・桜井(修) 7-5 6-3 桂・小林

No2×守山・坂本 4-6 2-6 藤間・片岡

(シングルス)

No1×田平 興一 1-6 0-6 桂

No2×守山敬次郎 1-6 8-6 3-6 片岡

No3×坂本 裕治 0-6 1-6 小林

No4○桜井 修 6-1 6-3 藤間

No5○島岡 博次 6-1 4-6 7-5 服部

○ 同志社 5 (複1-1 単4-0) 1 神経大④

(ダブルス) (6/5 同志社)

No1○田平・桜井(修) 6-2 6-0 杉本・松井

No2×守山・坂本 2-6 6-3 6-8 岩根・陣内

(シングルス)

No1-田平 興一 7-7 降雨中止 岩根

No2○桜井 修 8-6 6-4 杉本

No3○島岡 博次 1-6 6-0 8-6 陣内

No4○坂本 裕治 9-7 7-5 松井

No5○守山敬次郎 不戦勝 北村

○ 同志社 6 (複2-0 単4-1) 1 大商大④

(ダブルス) (5/28 中モズ)

No1○田平・桜井(修) 6-3 6-1 奥田・沢松

No2○守山・坂本 6-4 7-5 太田・友田

(シングルス)

No1×田平 興一 1-6 0-6 沢松

No2○桜井 修 6-3 2-6 6-2 小菅

No3○坂本 裕治 6-4 6-3 奥田

No4○守山敬次郎 7-5 6-4 友田

No5○島岡 博次 0-6 8-6 8-6 金谷

○ 同志社 6 (複2-0 単4-1) 1 阪大⑥

(ダブルス) (5/10 京大)

No1○田平・桜井(修) 8-6 6-2 西井・竹村

No2○守山・坂本 6-3 6-2 後藤・中出

(シングルス)

No1○田平 興一 6-2 6-1 竹村

No2×守山敬次郎 3-6 2-6 中出

No3○桜井 修 3-6 6-4 7-5 西井

No4○坂本 裕治 8-6 6-4 多田

No5○島岡 博次 6-3 2-6 6-2 後藤

<男子Aリーグ②位>

同志社大学 4勝2敗

1946 (昭和21)年

【定期戦】第16回 対 立教大学戦

(7月17日・18日 同志社)

× 同志社 4 (複2-1 単2-4) 5 立教大

(ダブルス)

No1○田平・桜井(修) 3-6 6-16-16-1 片山・桜井

No2○守山・坂本 6-2 3-6 6-4 6-2 田中・野田

No3×北沢・柳川 5-7 3-6 1-6 江島・中原

(シングルス)

No1×田平 興一 6-3 3-6 4-6 4-6 片山

No2○桜井 修 6-3 6-3 7-5 田中

No3○坂本 裕治 8-6 6-1 6-4 桜井

No4×守山敬次郎 6-1 2-6 6-8 3-6 野田

No5×島岡 博次 6-8 4-6 1-6 中原

No6×福永 謙一 6-4 2-6 3-6 5-7 江島

1946 (昭和21)年

【定期戦】第1回 対 法政大学戦

(9月10日・11日 同志社)

× 同志社 1 (複0-3 単1-5) 8 法政大

(ダブルス)

No1×桜井・富浦 2-6 7-9 0-6 渡辺・平井

No2×北沢・柳川 6-8 0-6 1-6 杉本・大野

No3×守山・坂本 6-2 7-5 3-6 1-6 1-6 杉山・川村

(シングルス)

No1×桜井 修 2-6 3-6 1-6 渡辺

No2×福永 謙一 2-6 2-6 3-6 平井

No3×柳川和一郎 1-6 2-6 2-6 杉本

No4×坂本 裕治 2-6 3-6 2-6 大野

No5○守山敬次郎 6-2 7-5 3-6 6-4 川村

No6×島岡 博次 4-6 2-6 3-6 杉山

(ダブルス) 模範試合

松浦(OB)・桜井(同大) 2-6 3-6 1-6 渡辺・平井

1946 (昭和21)年

【定期戦】復活 第1回 対 京都大学戦

(9月20日 同志社)

× 同志社 3 (複1-2 単2-4) 6 京大

(ダブルス)

No1×田平・桜井(修) 5-7 3-6 桑田・桂

No2×守山・坂本 2-6 3-6 藤間・片岡

No3○北沢・柳川 6-3 2-6 6-4 坂梨・浜地

(シングルス)

No1×田平 興一	6-7	4-6	桂	
No2×桜井 修	6-3	2-6	4-6	片岡
No3○坂本 裕治	6-2	6-1	藤間	
No4×守山敬次郎	2-6	6-3	4-6	浜地
No5○福永 謙一	6-3	4-6	6-3	坂梨
No6×柳川和一郎	6-3	2-6	3-6	桑田

1946 (昭和21)年

【定期戦】第7回 対 大商大戦

(6月7日 同志社)

○ 同志社 7 (複2-1 単5-1) 2 大商大 (ダブルス)

No1×田平・桜井(修)	2-6	4-6	沢松・小菅
No2○守山・坂本	6-4	6-3	奥田・友田
No3○北沢・柳川	6-4	6-4	金谷・太田

(シングルス)

No1×田平 興一	6-2	4-6	4-6	沢松
No2○桜井 修	6-1	6-4	小菅	
No3○坂本 裕治	6-2	6-4	奥田	
No4○守山敬次郎	6-1	6-3	金谷	
No5○島岡 博次	6-2	6-4	友田	
No6○福永 謙一	6-4	6-4	牧	

1946 (昭和21)年

【定期戦】第12回 対 三高戦

(6月18日 同志社)

× 同大予科3 (複2-1 単1-5) 6 三高 (ダブルス)

No1×山村(明)・菅原	3-6	7-9	河合・武間
No2○山村(正)・大和	6-2	6-4	芦田・加藤
No3○遠藤・角野	6-3	6-3	大白・加藤

(シングルス)

No1×菅原 三雄	5-7	2-6	河合
No2×角野 博之	6-0	4-2	不戦敗 武間
No3×山村 正	4-6	6-3	2-6 芦田
No4×富浦 俊夫	4-6	5-7	加藤
No5○遠藤 浩	4-6	6-2	7-5 大白
No6×山村 明	1-6	6-2	3-6 加藤

1946 (昭和21)年

【対抗戦】京都学生軍 対 京都クラブ

(9月20日 同志社)

× 学生軍 2 (複0-4 単2-5) 9 京都クラブ (ダブルス)

No1×生澤・桂(京大)	2-6	4-6	種田(早大OB)・中原(早大OB)
No2×田平・桜井	3-6	2-6	辻(早大OB)・山岡(早大OB)
No3×守山・坂本	2-6	2-6	藤澤(立教OB)・廣部(法政OB)
No4×北沢・柳川	4-6	3-6	八木(OB同大)・高谷(慶応OB)

(シングルス)

No1×桂 (京大)	3-6	2-6	種田(早大OB)
No2×田平 興一	6-2	3-6	2-6 中原(早大OB)
No3×桜井 修	2-6	2-6	辻(早大OB)
No4×守山敬次郎	0-6	0-6	藤澤(立教OB)
No5×坂本 裕治	2-6	2-6	廣部(法政OB)
No6○生澤(京大)	10-8	6-4	清田(OB同大)
No7○福永 謙一	6-4	3-6	6-3 杉井(OB)

1946 (昭和21)年

【西日本予科大会】第1回

(10月13日 同志社)

(出場校) 同大・京医大・関学・神経大・関大・大商大

▽1回戦

× 同志社 1 (複0-1 単1-1) 2 京医大 (ダブルス)

No1×菅原・橋本	3-6	2-6	(京医大)
-----------	-----	-----	-------

(シングルス)

No1○菅原 三雄	6-4	6-3	(京医大)
No2×橋本 岩男	2-6	4-6	松井(京医大)

1946 (昭和21)年

【西日本高専大会】

(10月17日・18日 同志社)

▽1回戦

○ 同志社 4 (複1-1 単3-0) 1 大高医 (ダブルス)

No1○大和・富浦	6-1	(大高医)
No2×角野・木村	4-6	(大高医)

(シングルス)

No1○富浦 俊夫	6-0	(大高医)
No2○大和 了	6-2	(大高医)
No3○角野 岩男	6-2	(大高医)

▽2回戦

× 同志社 1 (複0-2 単1-2) 4 関学 (ダブルス)

No1×大和・富浦	8-10	堤・和泉(関学)
No2×角野・木村	3-6	柴田・小林(関学)

(シングルス)

No1○富浦 俊夫	7-5	堤(関学)
No2×大和 了	4-6	和泉(関学)
No3×角野 岩男	4-6	小林(関学)

1946 (昭和21)年

【本年度卒業生送別紅白試合】

(9月19日・21日 同志社)

○ 紅軍10 (複4-1 単6-5) 6 白軍 (ダブルス)

No1 橋本・小越	3-6	桜井・坂本○
No2○守山・柳川	7-5	北沢・福永
No3○島岡・河田(嬢)	6-3	山村(正)・山村(明)
No4○田平・菅原	6-0	富浦・角野
No5○亀岡・大和	6-4	榎尾・遠藤

(シングルス)

No1 松居 直	1-6	桜井 修○
No2 小越 久夫	0-6	富浦 俊夫○
No3 橋本 岩男	1-6	福永 謙一○
No4 亀岡 文雄	3-6	坂本 裕治○
No5○河田 (嬢)	6-4	角野 博之
No6 菅原 三雄	3-6	北沢 良三○
No7○大和 了	6-1	山村 正
No8○柳川和一郎	6-1	榎尾
No9○島岡 博次	6-0	山村 明
No10○守山敬次郎	6-1	富永 光雄
No11○田平 興一	6-3	遠藤 浩

1946 (昭和21)年

【後援会復活式】現役対OB戦

(11月17日 同志社)
 (部長) 黒田 教授 (賛助会員) 武間・石黒
 (先輩出席者) 川延・八木・岩崎・改発・池上・辻本・神社
 ・由良・松浦・清田・福永・

(現役)		(OB)
No1△守山・坂本	12-10 4-6	川延・岩崎
No2一菅原・大和	6-4 中止	池上・由良
No3○亀岡・山村(明)	6-3 6-3	石黒・島岡
No4×守山・坂本	1-6	武間・中原
No5×清田・福永	2-6	川延・岩崎
No6×松浦・菅原	6-8	石黒・山岡
No7○島岡・大和	8-6	神社・福永
No8○改発・本咲	6-2	池上・由良

1946 (昭和21)年

【同志社創立記念招待庭球大会】対 法政大学戦

(12月4日 同志社)

○ 同志社 2 (複0-1 単2-0) 1 法政大 (ダブルス)

No1×守山・坂本	0-6 1-6	渡辺・杉本
(シングルス)		
No1○坂本 裕治	6-2 6-8 6-3	杉本
No2○守山敬次郎	8-6 9-7	大野
(エキビジョン)		
沢松 (大商OB)	5-7 3-6	渡辺 (法政大)
河田(嬢)OG 同大	0-6	山川嬢 (池田)
松浦(OB)・沢松(大商OB)	6-2 6-3	渡辺・杉本(法政)
松浦(OB)・河田(嬢)OG 同大	5-7 2-6	渡辺(法政)・山川嬢(池田)

1946 (昭和21)年

【関西学生新人並ビニ選抜大会】

(京都ゾーン) (4月7日~12日 府医大)

(男子シングルス)

▽1回戦		
桜井 修6-0 山口 (同経専)	山村 正0-6 伊差美(同経専)	
亀岡文雄6-2 森川 (同経専)	山村 明0-6 大木 (同経専)	
▽2回戦		
桜井 修6-1 伊差美(同経専)	亀岡文雄2-6 大木 (同経専)	
島岡博次6-1 河合 (三 高)	坂本裕治6-0 菅原三雄(同大)	
▽準決勝		
桜井 修6-3 大木 (同経専)	坂本裕治6-4 島岡博次(同大)	
▽決勝		
桜井 修(同大) 8-6 3-6 8-6	坂本 裕治(同大)	

〈優勝〉

〈準優勝〉

(男子ダブルス)

▽1回戦		
亀岡・菅原	2-6	山口・伊差美 (同経専)
島岡・坂本	6-1	大木・森川 (同経専)
▽2回戦		
島岡・坂本	6-2	山口・伊差美 (同経専)
守山・桜井	6-2	河合・武間 (三 高)
▽決勝		
守山・桜井(同大)	6-2 6-3	島岡・坂本 (同 大)
〈優勝〉		〈準優勝〉

(インターゾーン) (4月7日~12日 中モズ)

(男子シングルス)

▽1回戦		
桜井 修 3-6 8-6 4-6	乾	(関 学)

(男子ダブルス)

▽1回戦		
守山・桜井	6-4 6-3	松谷・乾 (関 学)
▽決勝		
守山・桜井	2-6 3-6	有野・井上 (関 学)
〈準優勝〉		

1946 (昭和21)年

【関西学生春季庭球トーナメント】

(選抜大会) (4月16日~ 中モズ)

(男子シングルス)

▽1回戦		
守山敬次郎	1-6 1-6	伊藤 (関 学)

(男子ダブルス)

▽1回戦		
守山・桜井	1-6 2-6	伊藤・戸次 (関 学)

1946 (昭和21)年

【全日本学生東西対抗庭球試合】第11回

(4月29日・30日 中モズ)

<男子>

× 西 軍 4 (複2-2 単2-5) 7 東 軍

(ダブルス)

No4×桜井(修)・片岡	7-9 1-6 6-4	斉藤・松井
(同大・京大)	7-5 4-6	(慶応大)

(シングルス)

No3×田平 興一	3-6 5-7 3-6	平井 正一
(同 大)		(法政大)

1946 (昭和21)年

【全日本学生・関西詮衡試合】

(6月22日~25日 中モズ)

(男子シングルス)

▽1回戦		
柳川和一郎6-4 林 (大農専)	島岡 博次6-4 阿部 (阪大)	
北沢 良三6-3 田所 (関大)	山村 正2-6 和泉 (関学)	
大和 了0-6 太田(大商大)	守山敬次郎6-2 加藤 (三高)	
亀岡 文雄4-6 越智(立命大)	福永 謙一6-1 斉藤(大外専)	
桜井 修6-0 木谷 (関学)	坂本 裕治 def 前田 (甲南)	
菅原 三雄3-6 乾 (関学)	山村 明2-6 北村(神経大)	
▽2回戦		
柳川和一郎1-6 西川 (関学)	島岡 博次6-0 後藤 (阪大)	
北沢 良三2-6 陣内(神経大)	守山敬次郎6-4 竹村 (阪大)	
福永 謙一1-6 有光 (関学)	桜井 修 def 円城 (三高)	
坂本 裕治6-1 大藪(立命大)		

▽3回戦

島岡 博次5-7 西川 (関学)	守山敬次郎1-6 太田(大商大)
桜井 修4-6 有光 (関学)	坂本 裕治6-0 友田(大商大)
▽4回戦	
坂本 裕治4-6 有野 (関学)	

(男子ダブルス)

▽1回戦		
菅原・山村1-6 竹村・阿部(阪大)	北沢・柳川6-2 渡辺・吉田(灘中)	
守山・坂本 def 井上・志田(甲南)	島岡・福永 def 土肥・三輪(大工)	
大和・山村2-6 高野・西畑(関大)		
▽2回戦		
北沢・柳川6-3 西川・有光(関学)	守山・坂本6-2 池村・和泉(関学)	
島岡・福永4-6 後藤・多田(阪大)		

▽3回戦

守山・坂本 6-4 北沢・柳川(同大)

▽準々決勝

守山・坂本 6-1 4-6 9-7 友田・金谷 (大商大)

▽準決勝

守山・坂本 5-7 8-6 6-4 北村・陣内 (神経大)

1946 (昭和21)年

【全日本学生庭球選手権】第14回

(7月20日~26日 中モズ)

(男子シングルス)

▽1回戦

田平 興一 6-4 3-6 6-3 佐治 (早大)

桜井 修 6-4 6-2 田淵 (産大)

坂本 裕治 7-5 3-6 6-3 川井 (早大)

島岡 博次 2-6 4-6 渡辺 (法政大)

守山敬次郎 1-6 0-6 佐藤 (慶応大)

▽2回戦

田平 興一 2-6 5-7 安達 (都立高)

桜井 修 2-6 5-7 沢松 (大商大)

坂本 裕治 3-6 5-7 戸次 (関学)

(男子ダブルス)

▽1回戦

守山・坂本 0-6 4-6 古賀・丹羽 (早大)

北沢・柳川 4-6 4-6 川井・市村 (早大)

田平・桜井(修) 6-0 6-3 川村・杉山 (法政大)

▽2回戦

田平・桜井(修) 7-5 5-7 8-6 斉藤・岡田 (慶応大)

▽準々決勝

田平・桜井(修) 3-6 6-3 3-6 清水・河本 (関学)

1946 (昭和21)年

【東日トーナメント】ジュニア

(9月25日~28日 立教・早大)

(9月23日~ ジュニア選手 大和 了(外専2)・

菅原三雄(予科2)は、マネージャー亀岡文雄(経3)に引率され、我が部として、本年度初の遠征を行う。)

(男子シングルス)

▽1回戦

菅原 三雄 6-0 細井 (法政大)

▽2回戦

菅原 三雄 6-1 6-2 木村 (早大)

大和 了 1-6 6-4 6-1 眞田 (学習院)

▽3回戦

菅原 三雄 6-4 6-1 中島 (法政大)

大和 了 4-6 3-6 村田 (早大)

▽4回戦

菅原 三雄 6-8 2-6 平井 (都立高)

(男子ダブルス)

▽1回戦

菅原・大和 6-3 武田・中村 (成城高)

▽2回戦

菅原・大和 6-0 6-1 安田・伊藤 (慶応大)

▽3回戦

菅原・大和 4-6 3-6 藤山・岡谷 (田園)

1946 (昭和21)年

【全日本庭球選手権】第21回

(10月12日~18日 田園TC)

(男子シングルス) (B-64)

▽1回戦

松浦 靖雄(OB同大) 2-6 0-6 松井 (慶応大)

(男子ダブルス) (B-32)

▽1回戦

松浦(OB同大)・沢松(大商OB) 6-2 6-2 岡崎・関沢 (田園)

▽2回戦

松浦(OB同大)・沢松(大商OB) 1-6 5-7 清水(池田)・大野(三菱)

1946 (昭和21)年

【関西庭球選手権】

(7月28日~8月5日 中モズ)

(男子シングルス)

▽1回戦

桜井 修 6-0 6-0 村田 (関大)

島岡 博次 4-6 6-3 3-6 木谷 (関学)

北沢 良三 1-6 3-6 有野 (関学)

柳川和一郎 1-6 3-6 末次 (関学OB)

岡 文雄 1-6 1-6 沢松 (大商大)

橋本 岩男 1-6 0-6 斉藤 (慶応大)

遠藤 浩 1-6 0-6 岡田 (慶応大)

黒田 実 0-6 0-6 大野 (法政大)

▽2回戦

桜井 修 3-6 4-6 杉山 (法政大)

(男子ダブルス)

▽1回戦

守山・島岡 不戦勝 (阪大)

黒田・橋本 1-6 1-6 (大商大OB)

▽2回戦

守山・島岡 3-6 1-6 黒川・川副 (関学OB)

北沢・柳川 6-4 6-1 山本・高谷 (慶応大)

亀岡・遠藤 5-7 3-6 湯川・一色 (甲陽工)

▽3回戦

北沢・柳川 6-2 6-3 湯川・一色 (甲陽工)

松浦(OB)・桜井(修) 6-4 8-6 山田・山縣 (慶応OB)

▽4回戦

北沢・柳川 1-6 1-6 黒川・川副 (甲陽工)

松浦(OB)・桜井(修) 2-6 3-6 片岡・則武 (大高OB)

ジュニア(男子シングルス)

▽1回戦

菅原 三雄 6-0 6-0 林 (甲南)

大和 了 6-1 6-0 浅井 (浪高)

小越 久夫 2-6 3-6 渡辺 (灘中)

▽2回戦

菅原 三雄 2-6 3-6 大谷 (甲南)

大和 了 2-6 0-6 丹羽 (早大)

ジュニア(男子ダブルス)

▽1回戦

大和・菅原 6-2 6-4 斉藤・加藤 (浪高)

▽2回戦

大和・菅原 6-0 6-0 清水・原 (堺中)

▽3回戦

大和・菅原 8-10 5-7 村山・今里 (浪高)

1947 (昭和22)年

◆社会：新学制実施(4/1)。大学名から帝國が消える(10/1)。

(教育基本法・学校教育法・各公布6・3・3・4制)

第1回 知事・市長選(4/5)、統一地方選(4/30)。
職業安定所が発足(4/17)。

◇SP：第1回 冬季国体 スケート大会のみ(1/25~1/26 八戸)。

◇テニス：第1回【全日本大学対抗庭球王座戦】

第1回【京都府庭球選手権】(/ ~ /)

◇本学テニス：黒田 謙吾部長 逝去(9/)、
以後(昭和26年迄 部長不在)。

1947(昭和22)年

【関西学生大学対抗庭球リーグ戦】

(5月14日~ 甲子園TC)

<男子A級リーグ>

× 同志社 1 (複 - 単 -) 8 関学①

同志社 (複 - 単 -) 京大②

同志社 (複 - 単 -) 神経大③

<男子A級リーグ 位>

同志社大学 勝 敗

1947(昭和22)年

【定期戦】第17回 対 立教大学戦

(月 日・ 日 立教大)

- 同志社 (複 - 単 -) 立教大

1947(昭和22)年

【定期戦】第8回 対 大商大戦

(4月24日 同志社)

× 同志社 4 (複0-3 単4-2) 5 大商大
(ダブルス)

No1×守山・坂本 4-6 8-6 3-6 奥田・辰己

No2×北沢・柳川 6-8 4-6 金谷・友田

No3×大和・菅原 6-8 2-6 北川・太田

(シングルス)

No1○坂本 裕治 6-1 2-6 6-2 奥田

No2○柳川和一郎 6-1 6-0 牧

No3○守山敬次郎 3-6 6-2 6-2 辰己

No4×北沢 良三 0-6 1-6 金谷

No5○大木 恵夫 3-6 8-6 7-5 友田

No6×島岡 博次 3-6 2-6 太田

1947(昭和22)年

【定期戦】復活 第2回 対 京都大学戦

(月 日)

同志社 (記録不明) 京都大

1947(昭和22)年

【関西学生春季庭球トーナメント】

(4月 7日~12日 中モズ)

(男子シングルス)

▽1回戦

守山敬次郎 6-8 4-6 片野 (大高)

山村 明 1-6 4-6 鶴田 (京工専)

村田 宏 0-6 1-6 松本 (関学大)

菅原 三雄 2-6 6-3 4-6 桑田 (京大)

富浦 俊夫 6-0 6-3 柴田 (関学)

坂本 裕治 6-0 6-3 岡田 (大高)

大和 了 6-0 6-3 芦森 (浪高)

橋本 岩男 不戦敗 太田 (大商大)

富永 光雄 2-6 6-2 3-6 渡辺 (神経大)

北沢 良三 6-1 6-4 浅井 (浪高)

島岡 博次 6-3 6-4 田中 (大商大)

増本 卓三 4-6 4-6 吉田 (甲南)

▽2回戦

柳川和一郎 4-6 6-2 6-2 武居 (甲南)

富浦 俊夫 2-6 3-6 金谷 (大商大)

坂本 裕治 7-5 6-4 沢松 (神経大)

大和 了 1-6 2-6 西川 (関学)

北沢 良三 6-0 6-0 上田 (関学)

島岡 博次 0-6 0-6 乾 (関学)

亀岡 文雄 1-6 1-6 辰己 (大商大)

▽3回戦

柳川和一郎 3-6 6-4 3-6 堀野 (関学)

坂本 裕治 6-3 6-4 服部 (京大)

北沢 良三 1-6 2-6 吉村 (関学)

▽4回戦

坂本 裕治 2-6 5-7 清水 (関学)

(男子ダブルス)

▽1回戦

島岡・富浦 6-1 6-0 森・桜井 (関学)

守山・坂本 6-1 6-0 牛島・田中 (同経専)

北沢・柳川 6-2 1-6 6-4 沢松・渡辺 (神経大)

大和・菅原 6-1 6-1 櫛谷・上田 (関学)

山村・橋本 2-6 0-6 北村・竹腰 (京大)

富永・増本 2-6 0-6 坂梨・織田 (京大)

▽2回戦

島岡・富浦 0-6 0-6 友田・金谷 (大商大)

守山・坂本 6-0 6-0 松田・西川 (浪高)

北沢・柳川 6-1 6-1 山口・大白 (三高)

大和・菅原 7-9 2-6 小林・松本 (関学)

亀岡・村田 2-6 2-6 松井・飯尾 (神経大)

▽3回戦

守山・坂本 6-2 3-6 6-0 友田・金谷 (大商大)

北沢・柳川 2-6 3-6 清水・岩倉 (関学)

▽準々決勝

守山・坂本 1-6 0-6 伊藤・吉村 (関学)

1947(昭和22)年

【関西学生庭球選手権】(秋)

(10月22日~28日)

(男子シングルス) (男子ダブルス)

1947(昭和22)年

【全日本学生庭球選手権】第15回

(7月21日~27日 田園C)

(男子シングルス) (男子ダブルス)

1947(昭和22)年

【関西庭球選手権】

(9月 日~ 日 甲子園TC)

(男子シングルス) (男子ダブルス)

1948(昭和23)年

◆社会：新戸籍法実施(1/1)。帝銀事件(1/26)。

新制高等学校発足(4/1)。昭和電工疑獄事件(6/1)。

◇SP：第5回 冬季五輪 サンモリッツ大会(1/20~2/8)。

第14回 ロンドン五輪(7/29~8/14)ー日本不参加。

◇テニス：第1回【全日本大学対抗庭球王座戦】

1948（昭和23）年

【関西学生大学対抗庭球リーグ戦】 1部3校制となる
（ 月 日～ ）

<男子B級リーグ>

○ 同志社 （複 - 単 - ）

○ 同志社 （複 - 単 - ）

<男子B級リーグ①位> 同志社大学 2勝0敗

【入替戦】

× 同志社 4（複 - 単 - ）5 京大
<B級①位> <A級③位>

<男子B級リーグ（残留）> 同志社大学

1948（昭和23）年

【定期戦】第18回 対 立教大学戦
（ 月 日・ 日 同志社）
- 同志社 （複 - 単 - ） 立教大

1948（昭和23）年

【定期戦】復活 第3回 対 京都大学戦
（ 月 日 ）
同志社 （ 記録不明 ） 京都大

1948（昭和23）年

【関西学生春季庭球トーナメント】
（ 4月 5日～10日 甲子園TC）
（男子シングルス）（男子ダブルス）

1948（昭和23）年

【関西学生庭球選手権】（秋）
（11月10日～16日 甲子園TC）
（男子ダブルス）

▽準々決勝

柳川・大木 def 堀野・池村（関学）

1948（昭和23）年

【全日本学生庭球選手権】第16回
（ 8月 9日～12日 甲子園TC）
（男子シングルス）（男子ダブルス）

1949（昭和24）年

◆社会：ドッジライン(3/7) (1ドル=360円) (4/23) -インフル抑止の劇薬。
ノーベル物理学賞(素粒子論) -湯川秀樹(11/3)。

◇SP：プロ野球一セ・パ両リーグに分裂公表(11/26)。

1949（昭和24）年

【関西学生大学対抗庭球リーグ戦】
（ 月 日～ ）

<男子B級リーグ>

○ 同志社 （複 - 単 - ）

○ 同志社 （複 - 単 - ）

<男子B級リーグ①位> 同志社大学 2勝0敗

【入替戦】

× 同志社 4（複 - 単 - ）5 京大
<B級①位> <A級③位>

<男子B級リーグ（残留）> 同志社大学

1949（昭和24）年

【片岡杯 全国庭球大会】第1回
（11月23日～ 甲子園TC）

<男子>

▽1回戦
× 同志社 0（複 - 単 - ）3 神戸U-1A

1949（昭和24）年

【定期戦】第19回 対 立教大学戦
（ 月 日・ 日 立教大）
○ 同志社 （複 - 単 - ） 立教大

1949（昭和24）年

【定期戦】 対 法政大学戦
（ 月 日・ 日 ）
○ 同志社 5（複 - 単 - ）4 法政大

1949（昭和24）年

【定期戦】復活 第4回 対 京都大学戦
（ 月 日 ）
同志社 （ 記録不明 ） 京都大

1949（昭和24）年

【関西学生春季庭球トーナメント】
（ 4月21日～26日 甲子園TC）
（男子シングルス）（男子ダブルス）

1949（昭和24）年

【関西学生庭球選手権】（秋）
（11月14日～15日 甲子園TC）
（男子シングルス）（男子ダブルス）

1949（昭和24）年

【全日本学生庭球選手権】第17回
（ 7月21日～31日 パレスコート）
（男子シングルス）（男子ダブルス）